

あおもり

県民
だより

2016
2
月号
No.155

北海道新幹線開業
～津軽海峡新時代～

CONTENTS 目次 平成28年2月1日発行(偶数月1日発行)

- 特集:北海道新幹線開業 ～津軽海峡新時代～.....1～5
- 申吾のほっとコラム.....6
- 人口減少克服 未来を変える挑戦
もっと女性が活躍できる仕事「建設業」.....7
- 乗継でもっと広がる空の旅
「だし活」W受賞!!
おいしく健康「だし活」ごはん! / あおもりインフォメーション.....8

新幹線が津軽海峡を越えて北海道へ!

3月26日(土)、いよいよ北海道新幹線が開業します。

本県と北海道を結ぶ青函トンネルは、昭和39年に掘削が始まり、昭和63年に営業が開始されました。このトンネルは将来の新幹線運行も想定して建設されたもので、今回の開業で北の大地・北海道まで新幹線が乗り入れることにより、本来の機能が発揮されることとなります。

北海道新幹線新青森・新函館北斗間の開業により、本県と歴史的・文化的つながりの深い道南地域との時間距離が大きく短縮され

ることから、県では、今回の開業を、観光、ビジネス、医療、教育、文化など、さまざまな分野に効果が波及する可能性を持つ大きなチャンスと捉え、本県と道南地域とを一つの圏域とする「津軽海峡交流圏」の形成に向けて「λ(ラムダ)プロジェクト」を推進しています。

現在、津軽海峡を挟んだ企業や団体間の連携・交流事例が次々と出てきていることから、北海道とも連携しながらこうした動きを加速させ、この圏域の交流人口の拡大と地域の活性化につなげていきたいと思います。(表紙は、北海道を指さすマギョロウ)



北海道

青森県との連携・交流を促進し、ともに発展。



北海道知事 高橋 はるみ

3月26日

の北海道新幹線開業まで

であとわずかととなり、いよいよ北海道から鹿児島まで、日本列島の南北2150キロが新幹線でつながります。道民の長年の悲願であった新幹線の開業は、まさに青函交流の歴史の新たな1ページとなるものと考えています。

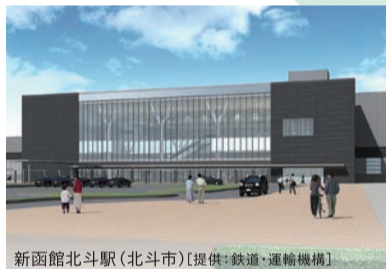
北海道新幹線の開業により、東京から新函館北斗駅まで約4時間で結ばれることとなり、約1400万人の人口を有す

相互交流が飛躍的に拡大することが期待されます。

また、経済団体等の試算によると、新幹線の開業効果は道内だけで年間120億円とも言われており、道といたしましては、この大きなチャンスを活かし、道内経済の活性化につなげていくため、道内外での開業PRをはじめ、食や文化を活かした観光地づくり、交通アクセスの充実といったさまざまな取組を進めています。さらに、開業効果の全道波



る北関東4県から3時間台で本道にお越しいただけるほか、仙台とは約2時間半、そして、何と云っても青森県とは1時間程度で結ばれ



新函館北斗駅(北斗市)【提供:鉄道・運輸機構】

信するとともに、開業日の3月26日から31日までの間、新函館北斗駅前において、北斗市と共同で、本道各地の食や地酒などの提供や、地域の方々による伝統芸能や本道らしさを感じていただくため、アイヌ舞踊などを披露する歓迎イベントを開催することとしています。加えて、函館空港から道東・道北へのチャーター便によるモニターツアーや航空路線開設の支援をはじめ、レンタカーによる周遊促進やバスの試験運行などの取組も進めています。

青森県との間では、道南地域と青森県を一体の地域として

ともに発展することを目指す「津軽海峡交流圏構想」の実現に向けてさまざまな取組を進めており、特に、1月下旬には、東京都内で三村知事と一緒に、メディアや旅行代理店等に向けたトップセールスセミナーを開催し、両地域の魅力を大きくアピールしました。

北海道と北東北に共通する縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す共同事業など、本道との関わりが深い青森県とは、今後とも、更なる連携と交流の促進に努めてまいりたいと考えています。

津軽海峡圏の人とモノの交流を深め、新たな魅力を発信したい。

青森の皆さんと道南の人々は古くから交流があり、これまでも修学旅行や観光で行き来するなど、観光面において深い交流がありました。北海道新幹線開業によってさらなる観光振興が期待できることはもちろんですが、私はビジネス面においてもまたとない好機だと捉えています。青函連携により、津軽海峡圏がひとつの産業・経済圏となり、新たなビジネスモデルをつくり首都圏に向けて発信していく。これは、両エリアの経済界にとってビッグチャンスではないでしょうか。

工会議所と事業連携し、互いの強みを結び付けるビジネスマッチングに取り組んできました。その中から、青森のカシスと函館のクリームチーズを使用した焼菓子や、にんにく醤油、りんごサイダー、ラーメンなどバラエティー豊かな逸品が誕生しました。また、函館には蔵元がないため、道南の復刻銘柄米を原料に弘前の蔵元が日本酒を醸造するなど、技術連携も行っています。

今後、青森と函館が約1時間で結ばれることで、観光、ビジネス面はもちろん、医療、教育など、暮らしのなかのさまざまな分野で可能性が広がっ

ていくことが予想されます。

観光においては、「周遊」がキーワードで、新千歳空港に到着した観光客には、函館観光の後に北海道新幹線で青森へ足を延ばしてもらい、函館空港に到着した外国人観光客も函館から青森へ、また反対に青森に来た観光客は新幹線で函館へというように、海を越えて周遊できる仕掛けが必要です。青森と道南が互いに送客し合う関係性を築きながら、人と人、モノとモノの交流をさらに深め、津軽海峡圏の活性化に向けて一緒に取り組んでいきましょう！



【インタビュー】
函館商工会議所副会頭
北海道新幹線新函館開業対策推進機構会長
にしむらのりとし
西村 憲人さん



函館山夜景



赤レンガ倉庫群

青森



新たな時代の到来

北海道新幹線開業は、 更なる飛躍のチャンス。

3月26日、
北海道新幹線
新青森・
線新青森・

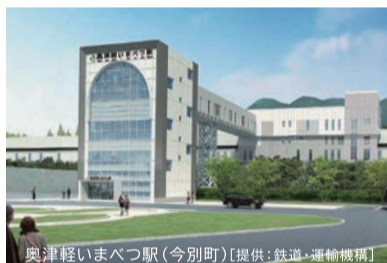
新函館北斗間が開業します。平成17年5月の着工以来10年余の歳月を経て、いよいよ新幹線が青函トンネルを通過して津軽海峡を渡り、北の大地に到達します。北海道民の皆さん、特に道南地域の皆さんの期待はさぞかし大きいものと思います。と同時に、3度目となるこの開業は、本県にとっても非常に大きな意味を持つ開業です。竜飛岬や大間町からは対岸の北海道が、天気の良い日にはそ



青森県知事 三村 申吾

の家々までもが手に取るように見えます。幅約20キロメートルの津軽海峡は昔から「しよっぱい川」と言われ、縄文の古より人々はこの川を渡って北海道との交易・交流を続けてきました。また、青函地域は多極分散型国土形成を目指して昭和62年に策定された国の第四次全国総合開発計画に基づき、札幌圏と仙台圏の中間に位置する第三の極となるインターブロック交流圏に位置付けられていました。しかし、青函連絡船で4時間、青函トンネルが開通しても2時間という時間距離は、本県と道南地域との一体的な交流経済圏域の形成にとって大きな障害となっていました。それが今、北海

道新幹線の開業により新青森・新函館北斗間が約1時間で結ばれ、両地域間での通勤や通院も可能となることで、経済的な交流拡大に加えて両地域に暮らす人々の内に精神的な一体感が醸成されていく新たな時代が到来したのです。さらに、この地域には東京や仙台に直結する東北・北海道新幹線に加えて、三沢・青森・函館の3つの空港から東京や大阪、名古屋、札幌の大都市圏や諸外国との間に航空路線が開設され、函館港と青森港、大間港間ではフェリー航路が運航されています。



これらの広域交通網を活用すると、航空機を利用して訪れた人々が新幹線やフェリーを利用して本県と道南地域の間を気軽に移動することが可能となります。例えば、函館と弘前で洋館巡りや函館と八戸でのイカの食べ比べ、湯の川と浅虫

での温泉巡りといった楽しい体験もできるようになります。道南地域は年間約1200万人、青森県には年間約3400万人の観光客が訪れています。双方の観光資源を効果的に組み合わせ魅力を高めることで、国内外から一層の誘客が可能となり、両地域全体の観光客数を単純な足し算を超えて大幅に拡大することができると思っています。さらには津軽海峡を挟んだ本県と道南地域が一緒になって農林水産資源を活用した商品などのブランド化を加速することで、全国にアピールできる名品づくりも可能でしょう。

コラムに記したとおり、津軽海峡圏は壮大なる可能性を持つ、今ここから新しい時代が始まる地域であると確信しています。北海道新幹線の開業という更なる飛躍のチャンスを生かすべく、共に果敢にチャレンジしていきたいと思えます。

歴史と文化の香る青森の魅力を、積極的にPRしていきたい。

青森県と道南地域は、古くは縄文時代から交流が盛んで、ひとつの文化圏をつくってきました。青森商工会議所は函館商工会議所と連携し、「会員事業所パートナーシップ支援事業」を行っており、青函の企業がビジネスパートナーとしての協力関係を築くことでいくつもの新商品が誕生しました。

また、函館市から始まった「バル街」は現在、青森市や弘前市をはじめ県内各地で行われており、地域の活性化はもちろん、若い人たちの出会いの場にもなっています。新幹線開業後は、青森・函館の各バル街をはしごするこ

とも夢ではないので、海峡を越えて交流の輪が広がっていけば、いっそう盛り上がるのではないのでしょうか。

現在、世界遺産登録を目指して取組を進めている「北海道・北東北の縄文遺跡群」も、開業を機にさらに青函連携を強めて推進していきたいと思えます。今年7月から「青森県・函館DC」が実施されますが、津軽海峡圏は、陸・空・海の交通手段が多岐に渡り、非常にバラエティー豊かな旅が楽しめることを売りに、お互いの地域の魅力を最大限に生かした観光商品を作りたいと思っています。

本県の最大の魅力は、県内各地のねぶた・ねぶた、三社大祭などの祭りや津軽三味線などの郷土芸能、三内丸山遺跡や弘前城など、歴史と文化が香る場所であるということ。函館を訪れる国外観光客にも、本場の文化に触れることのできる強みを積極的にPRして集客につなげていきたいですね。

地元の魅力にはなかなか気付きにくいものですが、県民一人ひとりが、もっと胸を張って青森を自慢しても良いのではないのでしょうか。青函それぞれの地域が地元を見つめ直し、一緒に魅力を発信していけたらと考えています。



【インタビュー】
青森県商工会議所連合会会長
わか い けい ち ろ う
若井 敬一郎さん



芦野公園のさくらと津軽鉄道

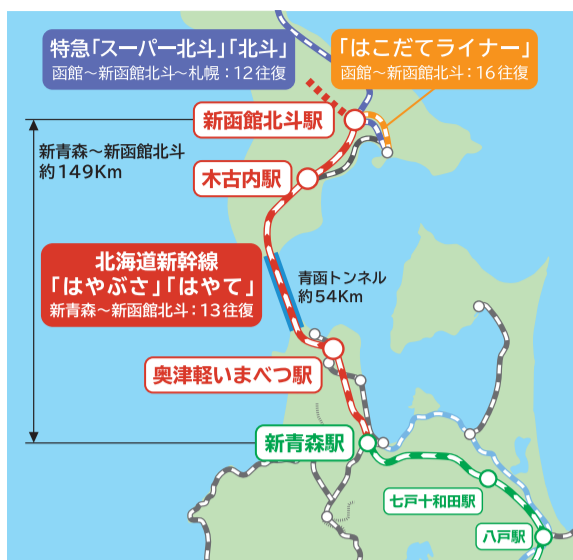


青森市ベイエリア

平成28年3月26日(土) 北海道新幹線開業!!

新設の奥津軽いまべつ駅 には7往復が停車!

昨 年12月に発表された北海道新幹線開業に伴う新幹線ダイヤによると、新青森―東京間の17往復、新青森―仙台間の1往復、新青森―盛岡間の1往復が維持されました。県内各駅への停車本数は、八戸駅が17往復(34本)、七戸十和田駅が12往復(24本)と、これまでと同じ本数が確保されるとともに、新青森―新函館北斗間に1往復が追加されるため、新青森駅には20往復(40本)が停車することになります。また、新設される奥津軽いまべつ駅には7往復(14本)が停車することになります。なお、北海道新幹線新青森―新函館北斗間は13往復運行され、最速達列車は1時間01分で結びます。



はこだてライナーを新たに設定!

函館～新函館北斗間に、新幹線アクセス列車「はこだてライナー」が設定され、すべての新幹線と接続します。快速列車は、函館～新函館北斗間を最速15分(上り)で結びます。



東北・北海道新幹線時刻表(県内及び道内発着分のみ)

列車	駅名	はやて	はやて	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	はやぶさ	
		91号	93号	95号	1号	5号	11号	13号	19号	21号	23号	25号	29号	33号
下り	八戸 発		7:27	8:36	9:22	レ	レ	13:05	15:05	16:14	17:05	18:14	20:13	22:06
	七戸十和田 発		7:40	8:49	9:35	レ	レ	レ	レ	16:27	レ	18:27	20:25	レ
	新青森 着		7:55	9:04	9:50	11:19	12:35	13:29	15:29	16:43	17:29	18:43	20:40	22:30
	新青森 発	6:32	7:57	9:06	9:52	11:21	12:37	13:31	15:31	16:45	17:31	18:45	20:42	22:32
	奥津軽いまべつ 発	6:48	8:13	レ	10:08	レ	レ	13:47	レ	17:01	レ	19:01	20:58	レ
	木古内 発	7:25	8:50	レ	10:45	レ	レ	14:24	16:22	17:38	レ	19:38	21:36	レ
	新函館北斗 着	7:38	9:03	10:07	10:58	12:22	13:38	14:37	16:34	17:51	18:32	19:50	21:48	23:33
上り	新函館北斗 発	6:35	7:34	9:31	10:49	12:44	13:35	14:44	16:17	17:21	18:36	19:37	20:39	21:59
	木古内 発	6:48	レ	9:44	レ	12:57	レ	14:57	16:30	レ	18:49	レ	20:52	22:12
	奥津軽いまべつ 発	7:26	レ	10:22	レ	13:35	レ	15:35	レ	レ	19:27	レ	21:30	22:50
	新青森 着	7:41	8:35	10:37	11:50	13:50	14:36	15:50	17:20	18:22	19:42	20:38	21:45	23:05
	新青森 発	7:43	8:37	10:39	11:52	13:52	14:38	15:52	17:22	18:24	19:44	20:40	21:47	=
	七戸十和田 発	7:58	8:52	10:54	レ	レ	14:53	レ	レ	レ	19:59	20:55	22:02	
	八戸 着	8:10	9:04	11:06	12:15	14:15	15:05	16:15	レ	レ	20:11	21:07	22:14	

図 交通政策課 ☎017-734-9152



奥津軽いまべつ駅を拠点に 津軽半島周遊の旅を楽しんで!

奥 津軽いまべつ駅は、建物の随所に地域の特徴を施し、また、訪れたお客様がより安全で快適にご利用いただけるように配慮しています。駅舎は、「本州最北の地から北の大地へ津軽海峡の四季が感じられる駅」をコンセプトに、シンボルでもある高さ25メートルの昇降棟には、今別町にある青函トンネルがゲート風にデザインされています。カラフルなホームのドアや床のデザインは、今別町の伝統芸能「荒

馬(あらま)の衣装を表現したものです。改札付近には、今別町の木・青森ヒバの飾り壁を設け、全面ガラスに施した荒馬踊りのシルエットがお客様をお迎えします。また、1階のホームから雪や風が2階の改札階に進入しないようにガラスの自動ドアを設けたほか、青函トンネルの本州側出口から最寄駅という立地から、安全を確保するための非常ドアなどを多数設けています。

半島プラザアスクル」では、もずくうどん、肉質A5クラス黒毛和牛・いまべつ牛のステーキなどが大変人気です。ぜひ多くの方に、奥津軽いまべつ駅を拠点に津軽半島をぐるりと周遊する旅を楽しんでほしいですね。新幹線開業は、ゴールではなくスタート! みんなで一緒に盛り上げていきましょう!



今別町役場参事・新幹線対策室長 小野 成治さん



【アスクル】
観光案内所、物販コーナー、レストランを備え、旅の拠点として利用できます。



【レンタサイクル】
電動アシスト自転車を無料で貸し出しており、海岸線のサイクリングが満喫できます。



【駐車場】
屋内48台分、屋外34台分の駐車場を完備。いずれも無料で利用できます。



【改札口への連絡通路】
複数の線路をまたぐ52メートルの連絡通路は、ガラス張りのため眺望抜群!



【ホーム】
柱の数を少なくして見通しを良くすることで、乗客の安全性を高めています。

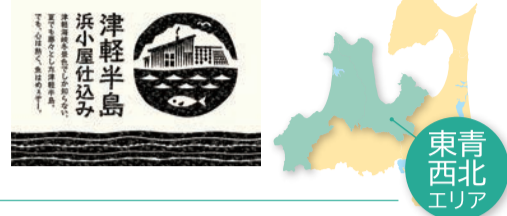


JR北海道 H5系(提供:JR北海道)

北海道新幹線開業に向けた地域の新たな取組

「奥津軽いまべつ駅」が誕生する東青地域、周辺地域では、開業効果を最大限に引き出すため、地域の魅力発信に向けてさまざまな取組を行っています。今回は、昔ながらの手仕事で磨いてきた津軽半島の産品を、共通のコンセプトでその魅力をアピールする取組、また、四季折々の白神山地の楽しみ方を新たな切り口で提案し、それをWebでも発信する取組を紹介いたします。

土産品共通ブランド 「津軽半島浜小屋仕込み」 新商品ぞくぞく登場!!



素っ気ない袋に入っていたり…。旅行のお土産としてはなかなか選択肢に入ってこなかったと思います。それらを解決して、土産品としてレベルアップさせようと、東青地域県民局の支援を得て取組を始めました。



現在、五所川原・つがる・今別・外ヶ浜・中泊の5市町11事業者で取組を進めています。従来の商品を小分けにしたり、保存期間の長期化や新たな商品開発に取り組んだり、さまざまな工夫を凝らしながら、開発を続けています。

「津軽半島浜小屋仕込み」の取組は、3月26日の北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業を機に、地域を訪れるお客さんにとって魅力ある土産品を作る目的で始まりました。

これまで、この地域の産品は、素材が良く、価格も安く、味は極上！でも買って帰るには量が多すぎたり、

まず、意欲ある事業者と県でアイデアを出し合い、事業者の垣根を越えた「地域の共通ブランド」を立ち上げることにし、全国の人たちが津軽半島に持つ「津軽海峡冬景色」の世界観を生かして、旅愁を誘う、昔ながらの手仕事感のある水産物シリーズにすることにしました。パッケージデザインも、一目で共通ブランドと分かるように統一感を持たせ、商品群として売場で目立たせる作戦です。



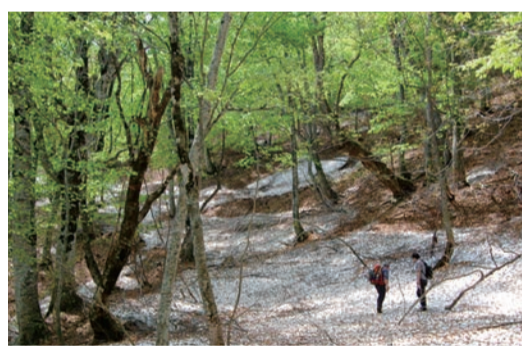
「津軽半島浜小屋仕込み」運営協議会会長
津嶋 正一さん

東青地域連携部 ☎017-734-9412



東青地域連携部 ☎017-734-9412

今、白神山地が面白い! 「白神カレンダー」 近日始動します!



白神山地周辺での体験プログラムやツアーを皆さまに紹介し、Webで発信するのが「白神カレンダー」です。いつ、どこで、どんな白神体験ができるのか！白神カレンダーには、白神の楽しさがいっぱい詰まっています。「これ、いいな！」と思ったら、そのままWebから申し込みもできます。

7月からは、白神山地の楽しい体験プログラムを集中的に実施する「体験博覧会」のような仕掛けもみんなで企画しています。北海道新幹線の開業を契機として、白神山地の楽しさをどんどん発信していきたいと思えます。

「津軽白神ツアー」は、白神山地の恵みや楽しさを皆さまにお届けするため、昨年の夏、西目屋村に開設された旅行代理店です。秋には「白神山地の水の恵み」をテーマとしたツアーを企画し、ブナ林の散策や、白神の湧水、食、温泉、お酒など新たな切り口で白神の魅力を楽しんでいただきま

した。今、白神山地の楽しみ方がどんどん広がっています。例えば、春の芽吹きを迎えたブナ林を歩く残雪トレッキング、清流・大川などでのシャワークライミング、景勝地・目屋溪でのラフティング、西海岸でのシーカヤック、赤石川や日本海での釣り、白神の森での木登りなどアクティビティが大変充実しており、



一般財団法人 白神里の里
津軽白神ツアー 旅行部門担当
濱中 真さん

また、白神の里の風景や暮らし・文化に触れる「まち歩き」「里山歩き」も展開されています。



自然保護課 ☎017-734-9257



JR北海道 H5系(提供:JR北海道)

戊辰の夢

青森県知事 三村 申吾

先般北海道・北東北の知事会があって、恥ずかしながら五稜郭を修学旅行以来に訪れた。

榎本武揚という人物は、その着眼力、構想力において、改めてすごいと驚かされるばかりであった。

実現性はどれだけかはともかく、本気度満々で蝦夷共和国を函館の地を中心に立ち上げ、外交を駆使して、蝦夷地資源を活用しながら、通商をもって明治新政府と伍して生き抜かんとしたのであろうその熱さには、感服するところ大である。

実は昔、勤めていた出版社で、直木賞作家綱淵謙錠さんの『航(こう)』という、オランダで建造された「フォルリヒター」こと「開陽丸」の小説を担当したことがあり、いろいろな意味で五稜郭訪問は感慨深いものがあった。

榎本公の大胆な志から150年、津軽海峡を貫く新幹線や、国内外との航空路線、高速フェリーやコンテナ船の航路、そしてこれら有機的に結びつける道路網が整いつつある。

榎本公が生きた蒸気船時代には想像もつかなかったであろうこうしたロジスティクス・交流基盤を背景に、両地域を一体とする「津軽海峡交流圏」を創り上げ、さらに「津軽海峡経済圏」へと発展させる夢の実現に向けて、いよいよスタートが切られることとなった。

青森・道南を合わせると、人口184万人、GDP5兆8,714億円、そして観光客は4,558万人と、札幌圏、仙台圏に匹敵する。

しかもこの地は、北米大陸と東アジアとの海上物流の3割を担い、将来的に北極海航路の重要なルートとなる可能性高まる津軽海峡を持つ、東アジアのゲートウェイとしての地政学的重要性を備えた、

申吾の ほっとコラム

将来性あふれる大圏域でもあるのだ。

しかし、可能性あふれる大きな夢であればこそ、丁寧に、慎重に、一つひとつの可能性を具体化し、石垣を積むようにしっかりと実績を重ねていくことが、本当に大切と考えている。

そのためにまず為すべきいろいろな事がもう、前後してスタートしている。

- ・東南アジアにまで翌日に荷物を届けるA! Premium(エープレミアム)
- ・観光の新しい形としての立体観光やサイクルツーリズム
- ・金融界、経済界で進む広域連携
- ・宇宙航空研究開発機構との共同研究
- ・クルーズ船、コンテナ貨物、バルク貨物の誘致
- ・メンテナンスセンターなど新しい動きに着目した産業の誘致・創出等々である。

土台が出来てゆくほどに、今後ますます実現すべきことが増えるだろう。着実に一つひとつの“海峡”プロジェクトを成し遂げ進化させ、確かなる交流圏を築き上げていきたい。

「ここに地終わり海始まる」

ポルトガル・ロカ岬の碑に刻まれた、欧州の地から世界の海へと挑んだ大航海時代の航海者たちを称えた16世紀の詩の一節である。

「戊辰の夢今ここにひらく」

新たな装いをまとった戊辰の夢が、今、一衣帯水の青森の地で形を見せ始めている。ここに生まれた者として、榎本公の志を引き継ぎ、挑み、子どもたちに語り継いでいくことは、使命だと思ふのである。



人口減少克服

未来を変える挑戦

最終回

人口増加につながる
仕組みをつくる

人口減少克服に向けた県の取組や、青森県の現状などをシリーズでお伝えします。

青森県で働こう! ~高校生・大学生の県内就職・定着を応援します~

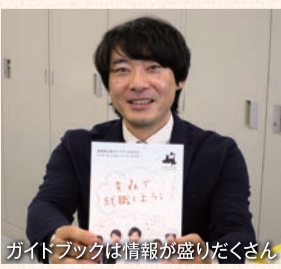
青森県では、長い間、県外への転出者数が転入者数を上回っており、特に就職や進学期の18歳や22歳での転出が多くなっています。一方、近年は、家族や友人のいる県内での就職を希望する学生も増えており、地元志向も強まっています。

人口減少を克服し、青森県が将来も持続していくためには、多くの若者が県内で働き、暮らしていくことが非常に重要です。

そこで、これから就職活動が始める皆さんが県内に就職し、また、既に就職が決まった皆さんが職場に定着していくためのポイントをご紹介します。

その1 県内の就職情報をよく知る

自分に合った仕事を見つけ、希望する会社に就職するためには、県内にどんな企業があるのか、その企業はどんな人材を求めているのかなどの情報をよく知ることが大切です。



ガイドブックは情報が盛りだくさん

県では、高校生や大学生向けに企業見学会や合同企業説明会などを開催しているほか、県内企業の

情報や就職活動のポイントなどを分かりやすくまとめたガイドブックを作成し、配布しています。県内には魅力ある企業がたくさんあることがきっと分かるはずです。ぜひご活用ください。

その2 家族でサポートする

就職する際、先生や友達はもちろんですが、家族も大事な相談相手です。人生の先輩としてアドバイスしましょう。また、仕事を辞めたいと相談があったときは、理由をきちんと聞きましょう。

就職状況は日々変わります。家族も「ジョブカフェあおもり」など、県内就職を支援する機関を利用し、県内就職に関する情報を知った上で、サポートすることが大事です。

その3 離職する前にもう一度考える

青森県は、新規高卒者の入社3年後の離職率が全国平均と比べて高い水準にあります。

県では、若年者の職場定着のため、高校生や保護者の方を対象とした就労意識形成セミナーや、県内の企業向けに、新入社員、先輩社員、経営者などそれぞれに対する研修会を実施しています。

一度離職すると再就職先を探すのは難しい状況です。離職する前にもう一度考えてみましょう。

その4 ジョブカフェあおもりに行く

「ジョブカフェあおもり」では、ハローワークと連携して、職業適性診断や履歴書作成支援、模擬面接などの就職に関する相談から職業紹介に至るまで、一貫した総合的就職支援を行っています。



ジョブカフェあおもり

ぜひお気軽にご相談ください。

青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム3F
☎017-731-1311 FAX017-731-1312

〈サテライトスポット〉弘前市(ヒロロ3階)、八戸市(八戸市庁別館5階)、むつ市(むつ市役所内)

【問合せ先】青森県 労政・能力開発課
☎017-734-9398 FAX017-734-8117

詳しくは、青森県 労政・能力開発課

もっと女性が活躍できる仕事「建設業」

～建設産業で働く女性の愛称、「けんせつ小町」や「ドボジョ」という言葉を聞いたことがありますか？～



建設産業では担い手不足が課題となっており、その解決策の一つとして女性建設技術者の積極的な登用の必要性が高まっています。県では、更に多くの女性技術者が活躍できる環境づくりを推進するため、各種取組を進めています。



取組の一つとして、昨年、10月23日に「女性建設技術者フォーラム」を開催し、女性の活躍をテーマとした基調講演や県内の女性技術者によるパネルディスカッションを行いました。ディスカッションでは、職場の

理解を得て仕事と子育てを両立しているなどさまざまな意見がありました。

同日、女性建設技術者ネットワーク会議が設立され、(株)みどりの植村房恵さんが会長に選出されました。

このネットワーク会議では、今後、県内の女性建設技術者等が自ら働く環境について調査・研究を行い、より良い職場環境を提案することによって建設業界の意識啓発を進める取組を行うこととしています。



ご賛同いただける女性技術者や技能者の入会をお待ちしています。

詳しくは県庁HP [建設業いろいろ](#)

監理課 ☎017-734-9706



乗継でもっと広がる空の旅

航空会社・航空乗継利用促進協議会共同乗継キャンペーンのお知らせ

航空乗継とは、出発地から目的地まで、他の空港を経由して飛行機を乗り継いで移動することです。直行便がなくても、各航空会社のネットワークを利用して全国各地にアクセスできます。

■航空乗継の3つのメリット

- 早い!** 飛行機を利用すると目的地までの所要時間が短く、時間を有効に使えるので、ビジネスにも観光にも便利です。
- お得!** 各航空会社の「乗継割引運賃」設定区間なら、通常の2区間分の料金に比べ、とてもお得な料金で旅行ができます。乗継割引運賃は当日予約でき、早めの予約ならさらにお得です。
- 楽々!** 出発空港で預けた荷物は、最終目的地まで運ばれます。大きな荷物を持って移動しなくてすむので、乗り継ぎの時も楽々です。

■航空会社・航空乗継利用促進協議会共同乗継キャンペーン

青森空港、三沢空港をはじめ全国42空港が参加する「共同乗継キャンペーン」では、期間中、JALまたはANAの国内線を同日に乗り継ぎされた方に、抽選で国内線乗継往復航空券や全国各地の名産品が当たります。ぜひ飛行機に乗ってご応募ください。



■実施期間：平成28年1月12日(火)～2月29日(月)

■対象者：期間中、JAL、ANAの国内線を同日に乗り継ぎで利用された方

※乗継割引運賃適用外でも可。往復となる同一区間を除く

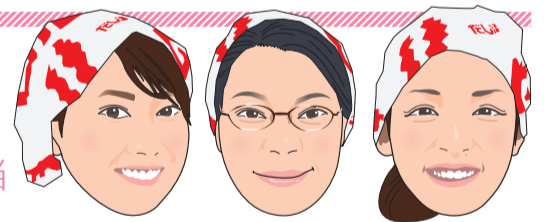
■応募方法：JAL、ANAの特設キャンペーンサイト内でお申し込みください

詳しくは [航空乗継利用促進協議会HP](#) [航空乗継](#)

交通政策課 ☎017-734-9153

【県職員からのお知らせコーナー】 「だし活」W受賞!!

総合販売戦略課
味覚を育む「だし活」事業担当



吉田 綾子 芳賀 智恵子 成田 彩子

だしの減塩効果に着目し、県産だしを使って減塩推進に取り組む「だし活」が、フード・アクション・ニッポンアワード2015の「販売活動部門優秀賞」と、第4回健康寿命をのばそう!アワードの生活習慣病予防分野で、「厚生労働省健康局長優良賞」を受賞し、農林分野と健康分野の2つから高い評価をいただきました。



ご家庭で「だし活」に取り組んでいる県民の皆さまをはじめ、栄養のプロ、食生活改善のプロ、生産者、食品メーカー、学生、地元スーパーなど本当に多くの皆さまが、健康寿命の延伸に向けて減塩を進めようという熱い思いで「だし活」に取り組んでいます。県民が一丸となった結果のW受賞。心から感謝申し上げます。

青森県は、死因の第2位が心疾患、第3位が脳卒中。腎臓の疾患も多いことから、減塩が必要不可欠です。

「だし活」は、我慢の減塩ではなく、おいしい減塩。これからも、多くの県民の皆さまに「だし活」に取り組んでいただきたいと考えます。

「できるだし」新商品 2月15日(月)発売開始!

「できるだし」の新商品が、2月15日(月)から発売開始となります。

小売用は5商品、給食用は1商品。さめ節や焼干しなど、青森ならではのだしがますます充実します。

「できるだし」シリーズで、手軽においしく「だし活」できる!ぜひ、ご活用ください。



「だし活しよう!」のぼりが目印の県内スーパー、量販店等でお買い求めいただけます。

詳しくは県庁HP [だし活](#)

総合販売戦略課 ☎017-734-9572

おいしく健康「だし活」ごはん!

2/15(月)発売
「できるだし」
新商品レシピ
パート1

「できるだし」新商品のうち、手軽に料理に深みを加える「さめ節MIX」を使用した野菜たっぷりの「千草焼き」と、上品なコクと焼干しの香ばしい風味が楽しめる「青森・たいの焼干だしパック」を使った、シンプルな「長ねぎの鯛だし煮」をご紹介します。どちらも、だしが決め手の逸品です。

さめ節だしの千草焼き [一人分のエネルギー 113kcal / 塩分 0.5g]

◎材料 ※材料は2人分です

- 卵 2個
 蒸しペビーホタテ 4個
 長いも(千切り) 30g
 にんじん(千切り) 10g
 ほうれん草(ゆで、2cmカット) 1株
 干しいたけ 1枚

- ② できるだし さめ節MIX・小さじ1
 酒 小さじ1
 白しよゆ 小さじ1/2
 干しいたけの戻し汁※ 小さじ2
 サラダ油 小さじ1/2

◎調理法

- ① 干しいたけを水で戻し、千切りにする。(※戻し汁は③で使う。)
- ② ペビーホタテは、貝柱とひもに分け、貝柱は3~4つに裂き、ひもは5mmに刻む。
- ③ 卵を溶きほぐし、②の具材と②の調味料を加えて混ぜる。
- ④ 卵焼き用フライパンを温め、サラダ油を薄くのばし③を流し入れ、混ぜながら火を通し固まり始めたら形を整える。
- ⑤ アルミホイルでふたをして、全体が固まるまで弱火で3分ほど蒸し焼きにする。

長ねぎの鯛だし煮 [一人分のエネルギー 20kcal / 塩分 0.5g]

◎材料 ※材料は2人分です

- 長ねぎ(5cmカット) 1本
 ② できるだし 青森・たいの焼干だしパック 1パック
 水 500ml
 酒 小さじ1
 塩 小さじ1/3

◎調理法

- ① 鍋に、②を入れ、火にかける。
- ② ①の鍋に、長ねぎを加え(だしパックを入れたまま)、軟らかくなるまで弱火で煮込む。
- ③ 酒、塩を加える。

「青森のうまいものたち」ホームページの「あおうまクッキング」コーナーで、作り方を動画で紹介しています。
<http://www.umai-aomori.jp/movie/2016-02/movie.phtml>

“今よりもす味にする”ことを心がけて「健やか力」アップ

- ◎20歳以上の1日の食塩の平均摂取量は10.5g、一方目標量は8g以下なので、2.5g多く食べています。
- ◎目標量8gに達していても安心できません。高血圧の予防、治療のためには6g未満が望ましいと考えられています。
- ◎実際の食事では、食塩を何g食べているかわかりませんので、だしを活用する等「今よりもす味にする」ことを心掛け、無理せず減塩に取り組みましょう。

*「健やか力(りょく)」とは、健康情報や医療情報を適切に利用し、活用する力のことをいいます。

「できるだし」青森・たいの焼干だしパック」の焼干しと昆布のからせだしが簡単にできます。



「Can Dash」さめ節MIX」青森県ならではのさめ節。かつお節とほろけをミックスしました。



◎レシピ監修: 総合販売戦略課 / 料理作成: 長尾律子(青森県栄養士会会員)

INFORMATION

あおもりインフォメーション

除雪作業中の事故に注意しましょう ～事故に遭わないための留意事項～

■必ず複数人で作業しましょう!

- 事故に備え2人以上で ●1人の時は家族に声掛け

■屋根の雪下ろしは特に注意しましょう!

- 命綱・安全帯を使用 ●はしごからの転落にも注意

■除雪機は正しく安全に使用しましょう!

- 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使用

※詳しくは青森県防災ホームページ「防災の心得/雪害防止の心得」をご覧ください。

防災消防課 ☎017-734-9089



運転免許証自主返納のお知らせ

青森県警察では、高齢等の理由で運転に不安を感じ、自主的に運転免許を返納した方に対し、県内の支援協賛店を通じて、タクシー運賃割引、各種料金割引、商品宅配サービスなどの日常生活支援を実施しています。

自主的に運転免許を返納した際に取得できる運転経歴証明書は県内の支援協賛店に提示することで支援を受けることができます。

また、この運転経歴証明書は、顔写真付きで身分証明書として使用することができます。 ※詳しくは警察本部までお問い合わせください。

警察本部交通企画課 ☎017-723-4211



県病メタボ外来・メディコトリムの紹介

県立中央病院では、メタボリック・シンドロームの方やその予備軍の方などを対象に、診察・検査・個別指導を実施するメタボ外来を毎週火・水曜日に行っています。

また、メタボ外来患者や希望者を対象として、医師の管理下で専門家による運動・栄養指導を行い、生活習慣病の予防・改善を目的とした「メディコトリム」を、奇数月第1・3木曜日に開催しています。



詳しくは、[県病](#) [メタボ外来](#) [Q検索](#)

県立中央病院運営部経営企画室 ☎017-726-8403

あおもり食命人 シンポジウム2016を開催します!

西日本新聞社の連載「食卓の向こう側」の編集委員である佐藤弘氏、NPO 大地といのちの会代表の吉田俊道氏、あおもり食命人とともに私たちの食について考えます。

■日時: 2月14日(日) 13:00~16:00(11:30~試食あり)

■場所: リンクモア平安閣市民ホール(青森駅ビル隣)

■内容: 講演1「私たちの食を考える」(佐藤弘氏)
 講演2「心も体も食からはじまる」(吉田俊道氏)
 あおもり食命人の活動発表・トークセッション

■定員等: 一般県民・あおもり食命人 500名(無料・要事前申込)

詳しくは、[あおもり食命人](#) [Q検索](#)

食の安全・安心推進課 ☎017-734-9354



みなさんと県庁を結び
県政
インフォ
メーション

テレビ

- RAB「LINK/青森県」(30秒スポット)
- RAB「大好き、青森県」(第三日曜日)17:00~17:15 (放送週が変更になることがあります)
- ATV「さくっと県庁」(木)「わっしょい」16:48~18:59内
- ATV「みんなの県庁!」(第一土曜日)18:55~19:00
- ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35

●青森県広報広聴課公式Facebook(<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ●青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ●青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

ラジオ

- RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35
- エフエム青森「あおもり・ふあん」(月)~(金)16:55~17:00
- エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」(第一日曜日)7:00~7:30

新聞

- 「広報あおもりけん」毎月1日・16日
- 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報

編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137 〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>

※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。

この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。

県民だよりあおもりの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県HP[グリーン電力証書](#) [Q検索](#)